

『三法人ジョイント研修』を実施しました

12月13日(金)長野市障がい者福祉センター『サンアップル』において、  
『三法人ジョイント研修』を実施しました。

この研修会は、(社福)高水福祉会・(社福)廣望会・(社福)長野県社会福祉事業団の三法人  
が合同で開催した研修会です。

内容は、

基調講演1『元厚労相専門官として、今回の報酬改定に思うこと』の演題で、(社福)みな  
なでいきる理事の片桐公彦氏。

基調講演2『根拠に基づく強度行動障害のある方への支援方法について』の演題で、(社福)  
はる理事長の福島龍三郎氏。

シンポジウム『強度行動障害のある方の意思決定支援と地域移行について』のテーマで、  
シンポジストに、片桐公彦氏・福島龍三郎氏・宮原哲史氏(NPO 法人シャイン代表理事)、  
話題提供者に、長野県西駒郷すずらん棟実践者2名(宮澤支援員・櫻沢支援員)。司会は(社  
福)高水福祉会理事長の野口直樹氏。の3部構成でした。年末の金曜日という開催日にも  
かかわらず、県内各地から約140名の皆さんにご参加いただきました。

基調講演1では片桐氏から、今回の報酬改定ではこんな点に重点が置かれた、等の興味  
深い話とか、次回の報酬改定に向けて現場の人たちはこんな点をもっとアピールすべきだ、  
などのアドバイスもいただきました。終盤の約15分間、片桐氏がとても楽しそうに話し  
ていた姿が印象的でした。

基調講演2は、はるばる佐賀県からお越しいただいた福島氏が、長野県民なら誰でも知  
っている『七味唐辛子』の話からスタートしたことで、会場と福島氏の距離がぐっと  
縮まった感じがしました。はじめに『強度行動障害』をわかりやすく解説していただきま  
した。そして福島氏の話の中で何度も出てきた『標準的な支援』の大事さを改めて確認で  
きました。

シンポジウムでは、駒ヶ根市の長野県西駒郷とインターネット回線をつないで、強度行  
動障害者の専門的な支援を行う予定の『すずらん棟』職員から、すずらん棟設立までの経  
過報告や建物の様子・実施する支援の内容等の紹介の後、各シンポジストと『相談支援専  
門員や自立支援協議会との連携は?』とか『地域に戻った後のフォロー体制は?』等の  
やりとりが行われました。県内でも珍しい『強度行動障害者支援の専用エリア』という事  
で会場の皆さんも報告やコメントに熱心に聞き入っていました。最後は、シンポジストと  
会場からすずらん棟に向けてのエールで締めくくりました。

複数の法人が合同で地域に向けて研修会を行うという前例はあまりないと思います。今  
後は志を同じくする他の法人さんにも加わってもらい、ジョイント研修が継続できたら  
いいな、と思います。

最後に、シンポジストの皆さん、参加者の皆さん、実行委員・スタッフの皆さん、あり  
がとうございました。